

署名提出行動 グラウンドルール

吉田寮署名提出実行委員会

吉田寮の署名提出行動へようこそ！

私たちは京都大学が起こした吉田寮をめぐる裁判の取り下げを求め、署名活動と今回の提出行動を企画しました。私たち吉田寮に関わる人びとの営みを提示し、大学当局の示す無機質な矮小化された吉田寮像を崩して、もっと豊かなものを提示することがこの提出行動の目的です。それゆえ12月20日（水）昼の総長・副学長に宛てた署名提出だけでなく、12月15日（金）からの京大クスノキ前テントや様々なイベントも全てが「本番」なのです。「署名提出行動」とはこれら全てを指します。

誰もが関わることのできる署名活動には、その提出にも寮生や京大生というカテゴリーを超えた幅広い人が参加できるべきと、私たちは考えます。そのために、私たちはこのグラウンドルールを定めます。丁寧に目を通していただければ幸いです。

・私たちは話し合いによる問題解決を目指します。

私たちは当事者が意思決定に関わり、責任を引き受けることが、関わる人びとにとって最も望ましい決定・解決につながると考えます。「自分たちのことは自分たちで決める」、それが私たちの思う自治のカタチです。吉田寮は自治寮として、自分たちのことを自分たちで考え、話し合いを通し自らの存在を問うていく営みを続けてきました。権威を盾にして、権力を振りかざし一方的な決定を行うことの危うさには、自覚的でなければなりません。

もし、何かトラブルがあれば、まずは署名提出実行委員を含めた周りの人に相談し、話し合いによる解決を目指していきましょう。

・私たちはあらゆる差別とハラスメントを認めません。

私たちは吉田寮が、誰もが気兼ねなく訪れ、安心して楽しむことのできる場であることを望みます。この署名提出行動もまた同じです。

そのためには、差別・ハラスメントを許さないという認識をその場の全員が持つ必要があります。

まずは、誰しものが加害者になりうるという意識を持つことから始めてみませんか？ 意図的な加害行為は当然、許されるものではありませんが、無意識の内に誰かを傷つけてしまっているかもしれません。もし指摘された場合は真摯に受け止め、話し合いに応じてみてください。また、もし誰かが不当な目に合っていたら、あるいは困った様子ならば、進んで声をかけてもらえればと思います。

誰かのSOSを受け止め、助け合うことのできる場をみなさんとつくっていただければと思います。

残念ながら2023年9月の吉田寮のイベントで性加害が起き、さらにはその後の食堂イベントで二次加害が発生してしまうということがありました。同様の事態を防ぐために、署名提出行動においても二次加害的な言説が見られた場合は、署名提出実行委員らによる声かけや聞き取りを行うなど然るべき措置を講じます。

私たちは皆が自分の言動に責任をもち、一時的な享楽や気晴らしのために場を消費するのではなく、場をつなげていくために主体的に関わっていくことを希求します。

さいごに、署名提出に際して、大学職員や警備員からの妨害があるかも知れません。不当な弾圧に抗議するのは当然の行いである一方、無理な建物への突入や物理的接触は避けるようにしてください。署名を総長・副学長に手渡すことは手段の一つであり、**吉田寮の現状と意義を学内・社会に広く伝え、学内外の世論から当局の方針を転換させることがこの提出行動の目的だからです。**

みなさんと、この署名提出行動を通して出会い、つながり、語り合い、新たな大学・社会のためのアクションができることを望んでいます。12月の京都、厳しい寒さの中ではありますが、少し温かなクスノキ前でお会いできることを楽しみにしています。